



THE LIFE OF  
DAVID

---

A STUDY OF 2 SAMUEL

東京キリストの教会  
ダビデシリーズ第5回

**VIEW OF GOD**

**神様を正しく見る**

**VIEW OF SELF**

**自分を正しく見る**

**VIEW OF OTHERS**

**他人を正しく見る**

# 新しい神様を迎えよう

2021/06/06 日曜礼拝

# 歴代誌上 13章

## ①神様が打ち砕かれる時

ダビデは千人隊と百人隊の長およびすべての指導者と協議し、イスラエルの全会衆に言った。「もしあなたたちが賛成し、またわたしたちの神、主の御旨でもあるなら、わたしたちはイスラエル全土に残っている兄弟、および放牧地をもつ町にいる祭司とレビ人に使いを送ってここに集め、わたしたちの神の箱をここに移そうではないか。サウルの時代にわたしたちはこれをおろそかにした。」民のだれにもそれは当を得たことだと思われたので、すべての会衆が賛同した。ダビデはエジプトのシホルからレボ・ハマトまでのすべてのイスラエル人を集め、神の箱をキルヤト・エアリムから運んで来ようとした。ダビデはすべてのイスラエル人と共にバアラト、つまりユダのキルヤト・エアリムに上って行った。それは、ケルビムの上に座しておられる主なる神の箱、その御名によって呼ばれる箱をそこから運び上げるためであった。'

‘彼らはアビナダブの家から、神の箱を新しい車に載せ、ウザとアフヨがその車を御した。ダビデとすべてのイスラエル人は、神の御前で力を込めて、歌をうたい、豎琴、琴、太鼓、シンバル、ラッパを奏でた。一行がキドンの麦打ち場にさしかかったとき、牛がよろめいたので、ウザは手を伸ばして箱を押さえようとした。ウザが箱に手を伸ばしたので、ウザに対して主は怒りを発し、彼を打たれた。彼はその場で、神の御前で死んだ。ダビデも怒った。主がウザを打ち砕かれたからである。その場所をペレツ・ウザ（ウザを砕く）と呼んで今日に至っている。その日、ダビデは神を恐れ、「どうして神の箱をわたしのもとに迎えることができようか」と言って、ダビデの町、自分のもとに箱を移さなかった。彼は箱をガト人オベド・エドムの家に向かわせた。三か月の間、神の箱はオベド・エドムの家族とともに、その家の中にあった。主はオベド・エドムの家の者とその財産のすべてを祝福された。’

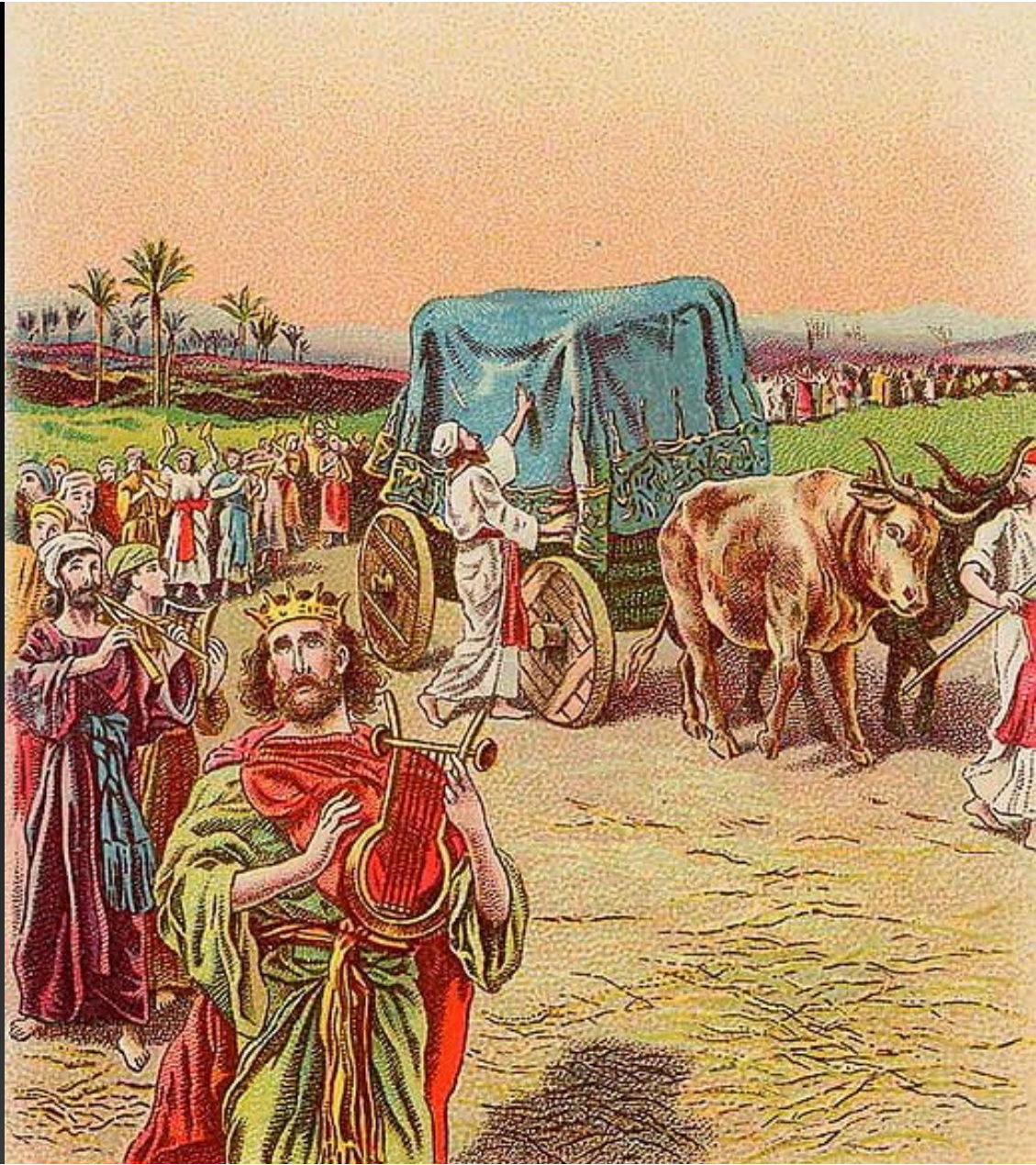
‘ダビデはエジプトのシホルからレボ・ハマトまでのすべてのイスラエル人を  
集め、神の箱をキルヤト・エアリムから運んで来ようとした。‘

歴代誌上 13:5









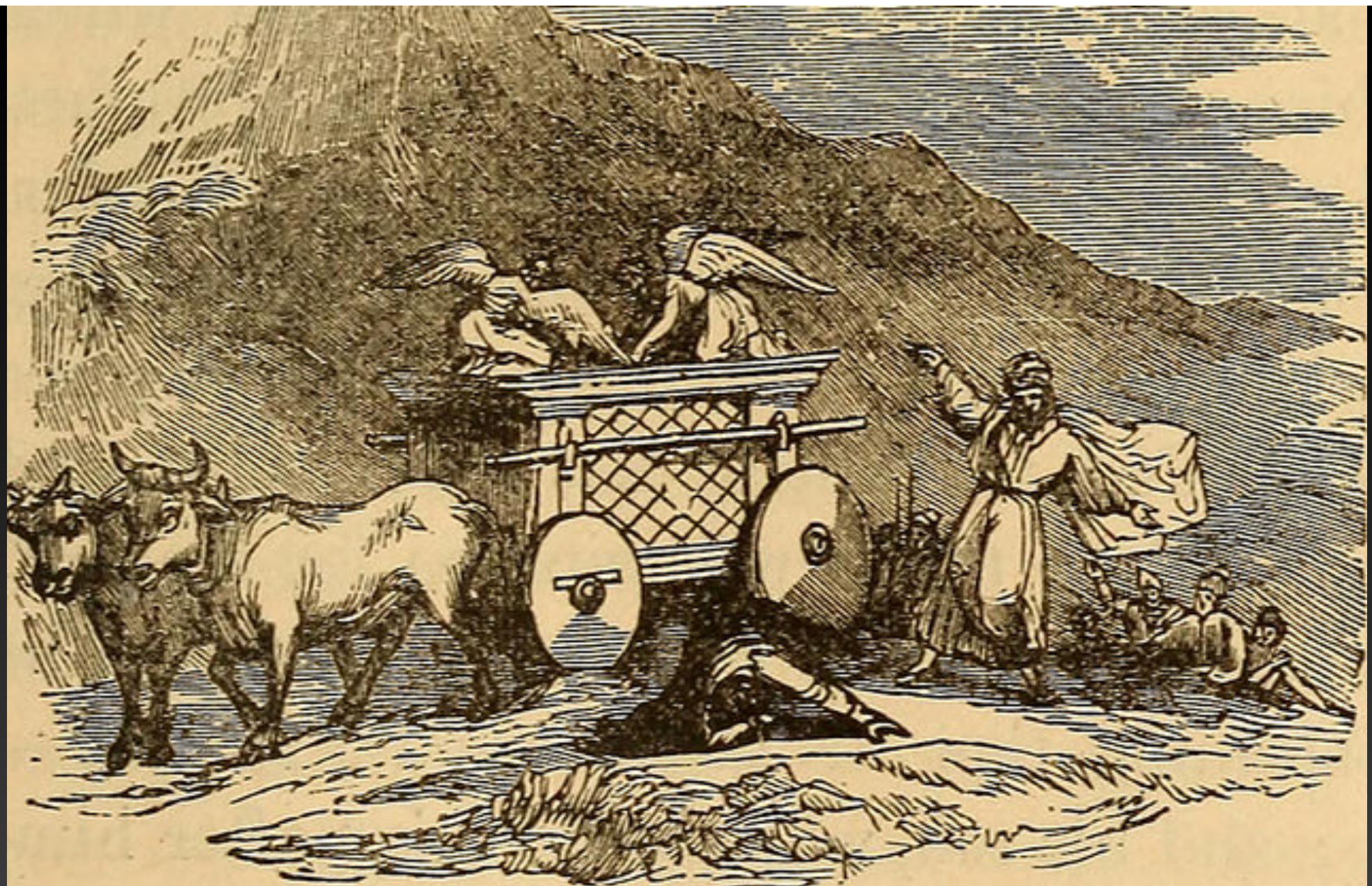




Ultimate Bible  
Picture Collection

'その日、ダビデは神を恐れ、「どうして神の箱をわたしのもとに迎えることができようか」と言って、ダビデの町、自分のもとに箱を移さなかった。彼は箱をガト人オベド・エドムの家に向かわせた。‘

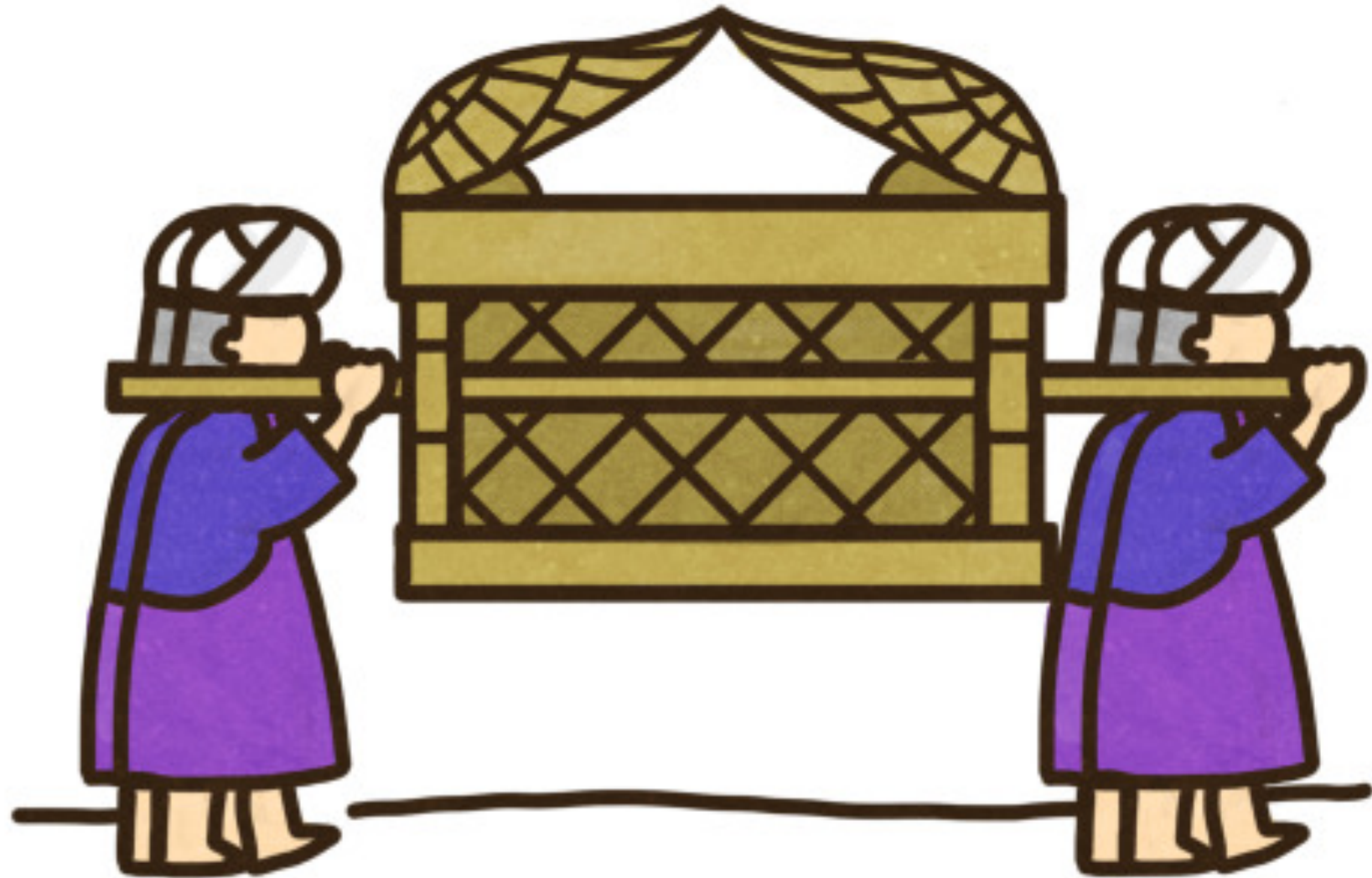
歴代誌上 13:12-13



'アカシヤ材で箱を作りなさい。寸法は縦二・五アンマ、横一・五アンマ、高さ一・五アンマ。純金で内側も外側も覆い、周囲に金の飾り縁を作る。四つの金環を鑄造し、それを箱の四隅の脚に、すなわち箱の両側に二つずつ付ける。箱を担ぐために、アカシヤ材で棒を作り、それを金で覆い、箱の両側に付けた環に通す。箱を担ぐために、アカシヤ材で棒を作り、それを金で覆い、箱の両側に付けた環に通す。棒はその環に通したまま抜かずに置く。この箱に、わたしが与える掟の板を納めなさい。‘

出エジプト記 25:10-16







ダビデは、ダビデの町に宮殿を造り、神の箱のために場所を整え、天幕を張った。ダビデは言った。「神の箱を担ぐのは、レビ人でなければならない。彼らこそ、主の箱を担ぎ、永遠に主に仕えるために主によって選ばれた者である。」ダビデはイスラエルのすべての人々をエルサレムに召集し、主の箱を運び上げて、そのために整えた場所に納めようとした。彼はまたアロンの子らとレビ人たちを呼び集めた。ケハトの一族では、ウリエルを長としてその兄弟百二十人。メラリの子らでは、アサヤを長としてその兄弟二百二十人。ゲルシヨムの子らでは、ヨエルを長としてその兄弟百三十人。エリツァファンの子らでは、シェマヤを長としてその兄弟二百人。ヘブロンの子らでは、エリエルを長としてその兄弟八十人。ウジエルの子らでは、アミナダブを長としてその兄弟百十二人。ダビデは祭司ツァドクとアビアタル、レビ人のウリエル、アサヤ、ヨエル、シェマヤ、エリエル、アミナダブを呼んで、言った。「レビ族の家系の長であるあなたたちは、兄弟たちと共に自らを聖別し、イスラエルの神、主の箱を、わたしが整えた場所に運び上げよ。最初的时候にはあなたたちがいなかったもので、わたしたちの神、主はわたしたちを打ち砕かれた。わたしたちが法に従って主を求めなかったからである。」祭司とレビ人は、イスラエルの神、主の箱を運び上げるため自らを聖別した。主の言葉に従ってモーセが命じたように、レビ人たちが竿を肩に当てて神の箱を担いだ。

歴代誌上 15:1-15

ダビデは、イスラエルの長老と千人隊の長たちと共に行き、喜び祝って主の契約の箱をオベド・エドムの家から運び上げようとした。主の契約の箱を担ぐレビ人を神が助けてくださったので、彼らは雄牛七頭と雄羊七匹をいけにえとしてささげた。ダビデは亜麻布の上着をまもっていた。箱を担ぐすべてのレビ人も、詠唱者も、運搬長ケナンヤも同様であった。ダビデは麻のエフォドも着けていた。イスラエルの人々はこぞって喜びの叫びをあげ、角笛とラッパを吹き、シンバルを鳴らし、琴と豎琴を奏でて、主の契約の箱を運び上げた。主の契約の箱がダビデの町に着いたとき、サウルの娘ミカルは窓からこれを見下ろしていたが、喜び踊るダビデを見て、心のうちにさげすんだ。'

歴代誌上 15:25-29



②神様自らがお入りになる時

'主の御前でダビデは力のかぎり踊った。彼は麻のエフォドを着けていた。'

サムエル記下 6:14



ダビデはウザが打たれた時に恐れながら言いました「どうして神の箱をわたしのもとに迎えることができようか」

歴代誌上 13:12

・【ダビデの詩。賛歌。】 地とそこに満ちるもの 世界とそこに住むものは、主のもの。主は、大海の上に地の基を置き 潮の流れの上に世界を築かれた。どのような人が、主の山に上り 聖所に立つことができるのか。それは、潔白な手と清い心をもつ人。むなしいものに魂を奪われることなく 欺くものによって誓うことをしない人。主はそのような人を祝福し 救いの神は恵みをお与えになる。それは主を求める人 ヤコブの神よ、御顔を尋ね求める人。城門よ、頭を上げよ ところしえの門よ、身を起こせ。栄光に輝く王が来られる。栄光に輝く王とは誰か。強く雄々しい主、雄々しく戦われる主。城門よ、頭を上げよ ところしえの門よ、身を起こせ。栄光に輝く王が来られる。栄光に輝く王とは誰か。万軍の主、主こそ栄光に輝く王。 ・

詩編 24:1-10



‘城門よ、頭を上げよ とこしえの門よ、身を起こせ。 栄光に輝く王が来られる。

栄光に輝く王とは誰か。

強く雄々しい主、雄々しく戦われる主。

城門よ、頭を上げよ とこしえの門よ、身を起こせ。 栄光に輝く王が来られる。

栄光に輝く王とは誰か。

万軍の主、主こそ栄光に輝く王。 ’

詩編 24:1-10

'ダビデが家の者に祝福を与えようと戻って来ると、サウルの娘ミカルがダビデを迎えて言った。「今日のイスラエル王は御立派でした。家臣のはしためたちの前で裸になられたのですから。空っぽの男が恥ずかしげもなく裸になるように。」

サムエル記下 6:20



# 新しい神様を迎えよう

- ①神様が打ち砕かれる時
- ②神様自らがお入りになる時

2021/06/06 日曜礼拝